



福岡ゾンタクラブ

福岡ゾンタクラブ年間行事報告 (2021.6.1~2022.5.31)

2021年

- 6月 4日 役員会
21日 第6期 総会 例会
- 7月 2日 役員会
19日 例会 各委員会報告 発表
- 8月 6日 役員会
16日 例会 各委員会報告 発表
- 9月 3日 役員会
21日 例会 各委員会報告 発表
- 10月 1日 役員会
18日 例会 各委員会報告 発表
- 11月 5日 役員会
15日 例会 各委員会報告 発表
国際ゾンタ理事 木下 彰子氏卓話 忘年会
福岡ゾンジャンお祝い会
- 12月 3日 役員会
20日 例会 各委員会報告 発表

2022年

- 1月 7日 役員会
17日 例会 各委員会報告 発表
- 2月 4日 役員会
21日 例会 各委員会報告 発表
- 3月 4日 役員会 ローズデイ最終話し合い
6日 ローズデイ 例会 各委員会報告 発表
- 4月 1日 役員会
18日 例会 各委員会報告 発表
松永 幸子氏卓話
- 5月 6日 役員会
16日 例会 各委員会報告 発表
22日 第13回エリアミーティング 神戸

寄付活動

- NPO法人 SOSこどもの村 JAPAN
- NPO法人 エンパワメント福岡
- NPO法人 アジア女性センター
- 福岡ゾンタクラブ奨学金
- ウクライナへの寄付

第8期 新役員・委員会構成

令和4年(2022年)6月1日～令和5年(2023年)5月31日

会 長	山田 富士子
副 会 長	古林 真由美
書 記	山下 仁子
会 計	黒木 周子
理 事	境 貴子 野口 尚美 前田 廣子
監 査	納富 輝子
財務プログラム 委 員 会	●黒木 周子 野口 尚美
会員委員会	●井上 登裳子 前田 廣子
アドボカシー (政策提言) 委 員 会	●西岡 明美 納富 輝子 小島 泰代
国 連 広 報 委 員 会	●山下 仁子 境 貴子 秋山 喜代

●印委員長 ○副委員長

〔役員会・例会〕
第1土曜日 10:30～ 日本ビルケア株式会社
(福岡市博多区神屋町4-5 KS神屋町ビル6F)

発 行 日 2022年5月31日
 発行責任者 福岡ゾンタクラブ 会長 境 貴子
 事 務 局 〒819-0013 福岡市西区愛宕浜2-3-9
 マリナタワー2105
 編 集 副会長 山田 富士子



会長 境 貴子

新型コロナウイルスがやってきて二度目に迎えた今年の春。「ウイズコロナ」の中で、福岡ゾンタ基金と福岡ゾンタ奨学金を中心に今期も会員の皆さんと頑張っていくと決めスタートしました。ゾンタ基金に関しては、なかなか会うことが出来ない方たちも多く、お声掛けが難しい面もありましたが、その中でもご協力頂きました皆様には心からお礼を申し上げます。また、福岡ゾンタ奨学金の奨学生募集もコロナが続いたことで応募者がいらっしゃるか？不安を抱えていましたが、今年も社会貢献活動をされている学生の方が、たくさん応募くださり感謝申し上げます。

先日外部より卓話に来てくださった社団法人女性起業家スプラウト理事長の松永幸子さんのお話の中に、「現代の若い方たちは、しっかりと社会に対して問題、課題意識を持ち、解決能力を持っている」というお話がありました。奨学生の皆さんのプレゼンテーションには、まさに問題意識と解決に向けての行動、取り組みがありました。一人ではなく仲間と一緒にコミュニケーションを大切にしながら取り組む姿勢は本当に頼もしく深く感動いたしました。今後、様々な問題がやってくるかわかりませんが、若い世代の皆さんを応援しながら共に良い世の中となるように私たちに出来る事を続けていきたいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。



副会長 山田 富士子

コロナ抜きには語れない2年間の活動を振り返ると、制限された活動の中で苦慮した記憶と共に、得たものの大きさも感じずにはいられません。毎月の役員会・例会をはじめ他クラブとの交流に、新しく「オンライン」という方法が加わったのは画期的なことでした。今までは仕事などで時間の調整が難しかった役員会・例会への参加が気軽にできるようになったこと。そして、遠方でなかなか参加できなかった他クラブが開催する講演会などにも参加し聴講できたこと。意見の共有もメンバーの都合さえつけば朝早く、もしくは夜遅くでも可能となったこと。これらは半ば強制的に今までとは違った方面で私たちの活動の幅を広げるものだったと思います。

一方で、今まで当たり前のように行っていた「リアル」での交流の大切さにも改めて気づくことができました。「オンライン」と「リアル」の使い分けを考え、メンバーとの親交を深めるとともにプライベートも充実させていく術を獲得できたことは、現代を忙しく生きる私たちにとっては大きな収穫だったと考えています。今後も私たちは、想像もしなかったような時代の流れに身を置くことになると思いますが、それらを素直に受け取る柔軟さと真摯に向き合う力強さを併せ持ち、少しずつでも成長して微力ながら社会に還元できることを願います。ご支援・ご協力いただく方々に感謝を申し上げ、皆様の明るい未来を心より祈念いたします。





実行委員長 井上 都裳子

2022年 / ローズデイ

ゾンシャン達の魅力に惹かれて、何もわからないままに参加してはや数年経ちます。

SDGs 世界にある様々な問題の中で、「No.5 ジェンダー平等を実現しよう」を中心に国際ゾンタの一員として活動できることに喜びと誇りを感じています。今回の奨学金贈呈式では、奨学生の皆様から活動内容をパワーポイントを使って発表頂きました。コロナ禍の中で、ひたむきにボランティア活動をしている、高校生の素晴らしい経験と夢やミッションを、ローズデイを通して聴くことが出来たことは何よりの感動でした。



※西日本新聞掲載

奨学金プロジェクト

次世代の社会を担う若い学生が豊かな人間性を備え、さらにグローバルな視野に立つ優れたリーダーシップを発揮する人材となるようその育成に資する共に、ジェンダー平等の実現や社会貢献の活動を支援することを目的にスタートした「奨学生募集」は今年で2回目を迎えました。「奨学金プロジェクトチーム」を立ち上げ、福岡教育委員会のご賛同とご支援を賜り、その後それぞれの学校へ説明訪問しました。今回の採点項目は、1.リーダーシップ、2.実行力、3.社会貢献度、+αで、それぞれの観点で主体的に取り組んでおられるかどうか？をメンバー全員でしっかりジャッジし、厳正なる選考の結果、3名の奨学生を決定しました。

プロジェクトリーダー 野口 尚美



<例会>

司会進行 末永 弘子

木下理事をお迎えしての卓話&クリスマス会

2021年11月8日 長らく実開催を控えていた卓話の会を、WITH THE STYLE FUKUOKAにて実施する事が出来ました。今回は木下彰子国際理事に国際ゾンタの活動について講演頂きました。コロナ禍に遮られる事なく、いかに世界のゾンシャンが活動が続いているかをリアルな見地から伝えて下さる題目に熱心に聞き入る福岡ゾンシャンの姿は、久しぶりに集まった会に活力を与えてくれました。続くクリスマス会は再会を喜び、其々のメッセージの披露が楽しく続いた夜になりました。



木下彰子国際理事



<例会>

副会長 山田 富士子

松永 幸子氏による卓話



令和4年4月18日(月)18:30より、一般社団法人女性起業家スプラウト 理事長 松永幸子様「男女共同参画社会」について、たくさんの資料と柔らかな語り口で、世代間での考え方の現状とそのギャップ、また女性の新しい働き方などをお話いただきました。

Z世代・ミレニアル世代は、地球環境やジェンダーなど社会問題への意識が非常に高いというお話もあり、若い方々に頼もしさを感じることもできました。質疑応答では活発な意見交換がなされ、会員の関心の高さも感じました。



コロナ禍になり、ディナーショー等のイベントの開催が困難になった中、ゾンタクラブの活動を知ってもらおうと支援する法人団体への寄付金や奨学金の資金を集める方法として、「福岡ゾンタクラブ基金」を設立しました。

プロジェクトリーダー 黒木 周子